

增

河南名所鑑

記

河内名所記卷四

栄雄都

丹那

志理太

日か

仲哀天皇御廟

志紀郡

米田八幡

古市郡

雄井

日か

道の寺

志紀郡

反正天皇御廟

丹那

葛井寺

日か

熱社

志紀郡

阿波國文庫

大田

志紀郡

本利

日か

大井

日か

小山

日か

雄略天皇御廟

丹那

阿保親王御廟

日か

児ヶ池

日か

大極の保親王御廟

日か

極山

日か

不惑文庫

允恭天皇以勅曰

潮音寺

亥い千せん刻く
日ひ方かた

肥田水
めい
の
し
ち
水
月か

舟橋

當宗神社
日か

小糸天祿

柏原
月

每歲說

月

沼村

卷之六
目錄

風破

株主名目

枯木
日あ

沖
Σ
12
3

道
日

家
木

布ぬい 日ひ

虫 爲 根
八上郡

金田
日

花田
同分

榮離之都

人王十九代及正天皇乃皇居都河内丹比是謂

業離之文

丹水^ニ郡^ノ喜^ニ原^ノ乃^ニ廣^ニ場^ノと^ニふ^ニあ^ニる^ニ也^ニ

乃皇孫のつゝあゝとてはるけくはるけく

天祿乃祐^ままに^い四方^に氣ありて小

そらと一羽うきおのりなわ

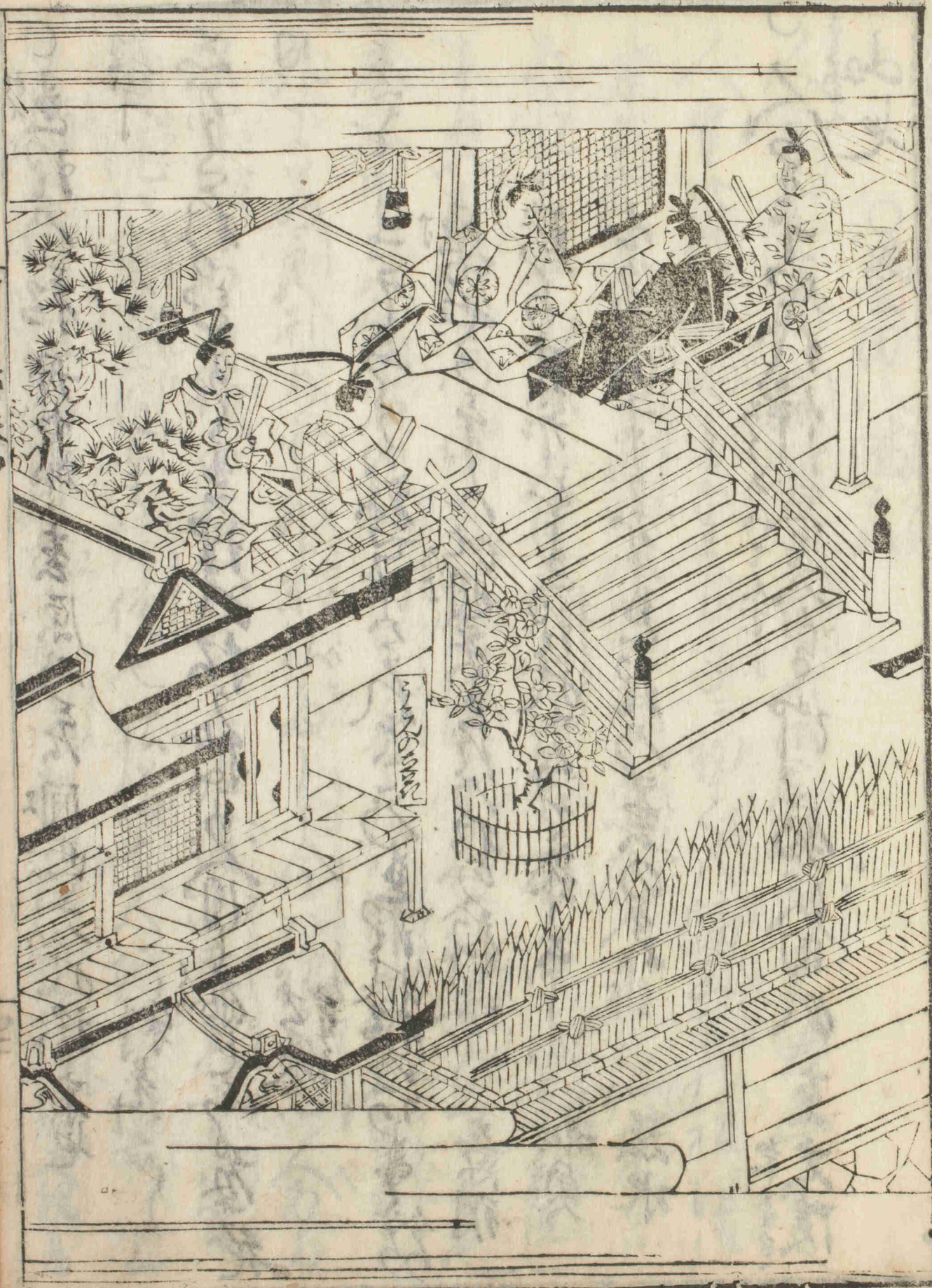
律

黃翔

采垣元文とくふしそがくをひききりてあ

栗垣乃まゝとく嘆や車ゆり
淳久

ひきこゝへて業垣乃終ハナハチ



○（抄）此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

利光
此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

日
此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

山也

○（卷）田八幡文

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

人皇十六代應神天皇此乃乃招丹心郡去原乃云同西天此神本也

堂祭を樂座あり奥院に本堂有るを搦あり
縁起ハ普廣に義教に受以上又忠有給主佐佐盛
なり卯月つるあまの神より車樂二系後ふ日徳児
の舞と隔るよりあり八月十八日ハ樂おに人
舞あり正月十日月新しうもくまけのよ水と板月
ともり二年中れ水汁何合と初祿宜乃役也搦れり場
ハ神下并ニ神功皇女ありまゝと納ありふ矢坂と
あり清ハ杉物神家進則建久二子と祿ありハ
樂并ニ神長刀同神家を神廟下境内廻り又所
置方社傾代々將軍神祿祿あり

神

元信

八幡とくまゝやと安花とむハ是也といふ田あり

及次

拓れまぐさふ人田ハ神山の系ハ幡一れそる

可居

参園といふさかき神とく山といふさかきふあふ

月うあや汁はまきまきれ境餅

花うくはら方風ううい参園

むつ波ふ移む方小標と磯良小

なみらん田ハ幡咲くら花登

花れ枝やなつこれふと杉えと

八幡をいふなりとてえんは戸極
 貝極八まんほもてそたのふ
 貝極八まんほもてそたのふ
 花摘の所能や出まゝいえ田
 車樂ハ八ゆんんといふ人田
 曹なして一々ら名乗る郭云
 ぐたあ人田なめいふ郭云
 郭云が郭神やけうりめ
 きつてあ人田八まんねいめ
 王といふゆめい男末盤田

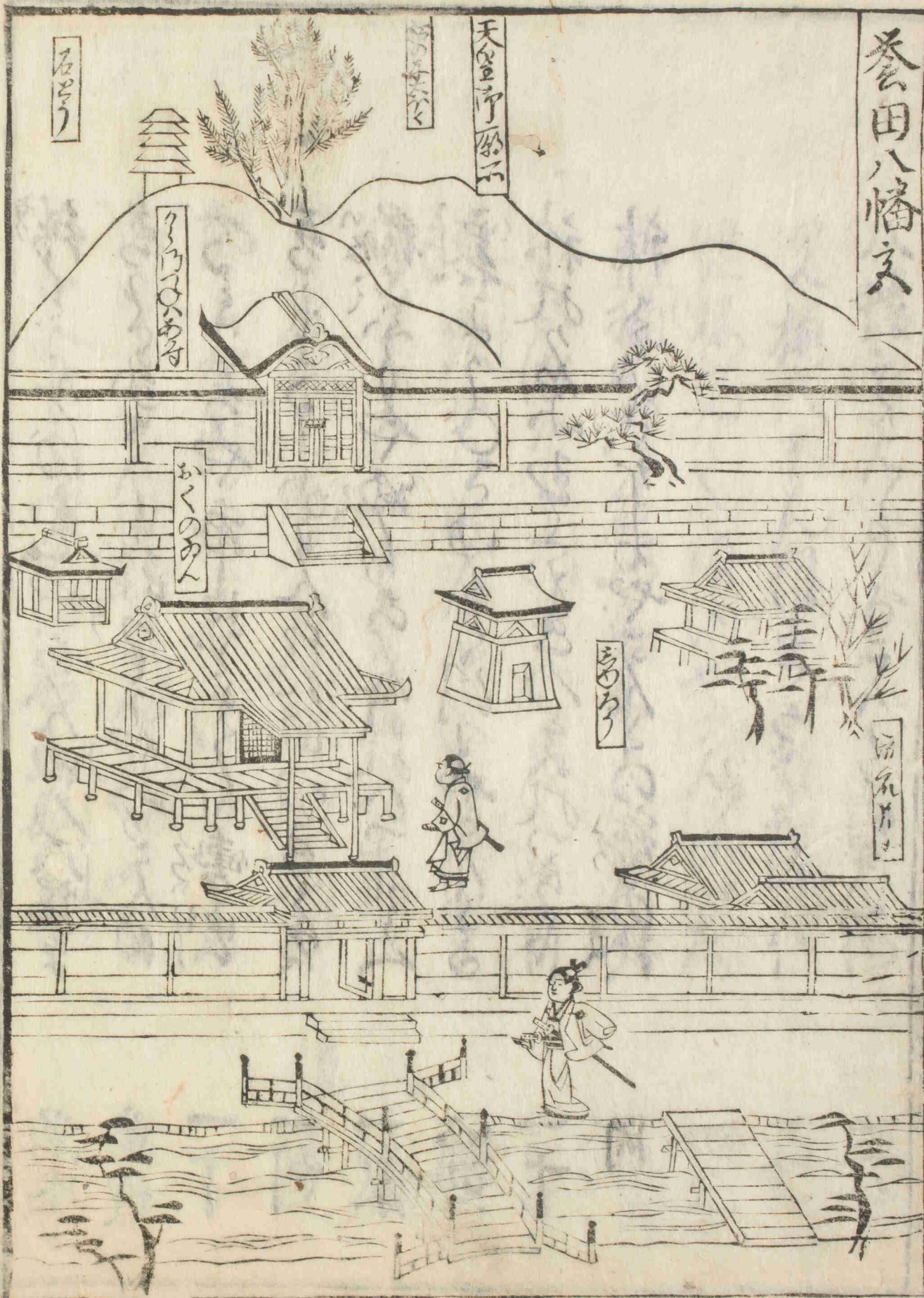
立以 一利 如元 下 享 一守 行廣 政長 二十 新色子 可原

移るんは是やあ人田ハ幡
 ちいふなりとてえんは戸極
 うまや市はとてえんは戸極
 ちいふなりとてえんは戸極
 ちいふなりとてえんは戸極
 ちいふなりとてえんは戸極
 ちいふなりとてえんは戸極
 ちいふなりとてえんは戸極
 ちいふなりとてえんは戸極

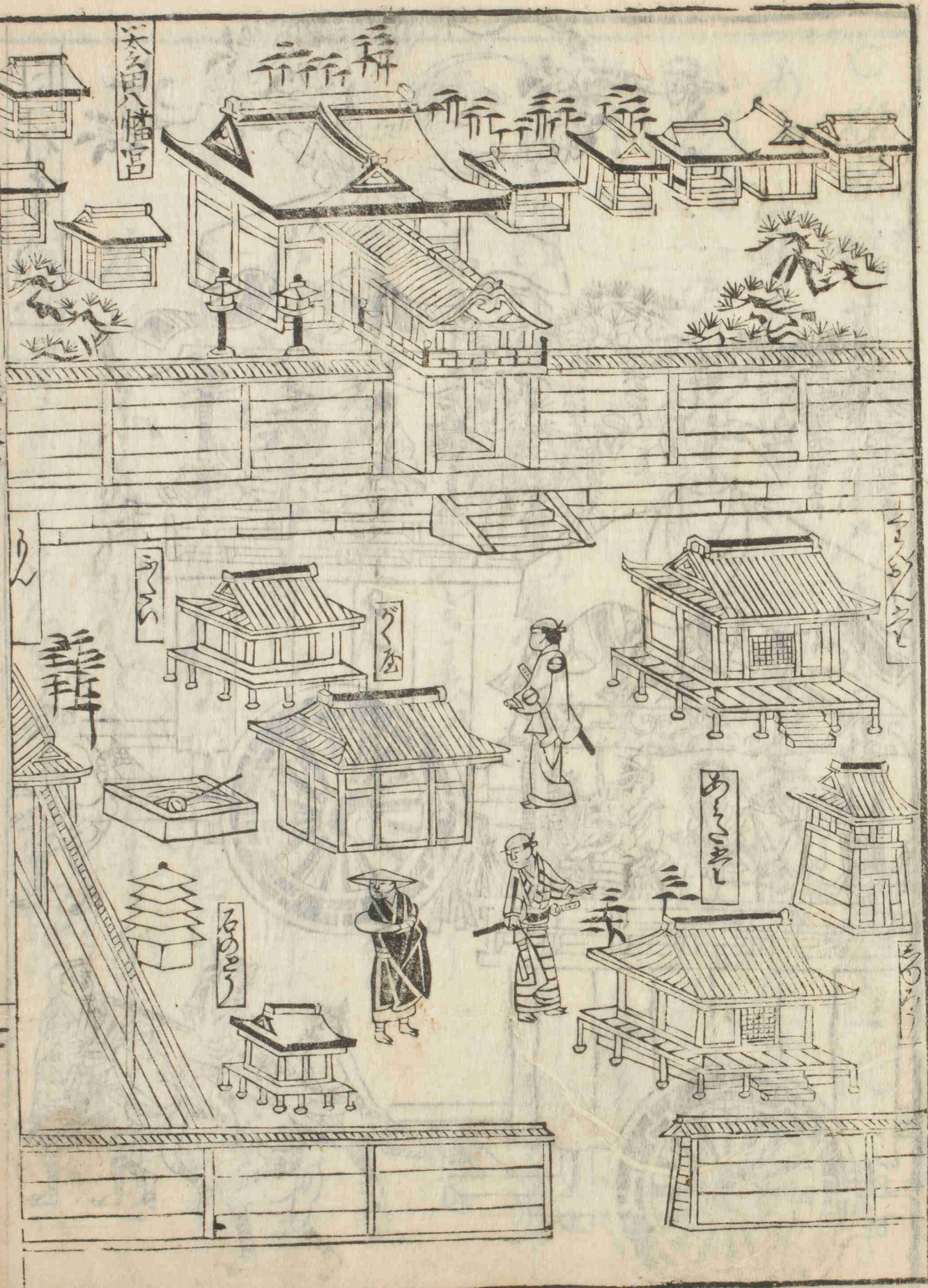
黒氷 典後 二十 一利 一樂 以弘 二十 同

天田八幡宮

河内縣卷四



天田八幡宮





○雄井の基菩薩の井あり井内院と云寺
あり山号心寶山十一面観音の長一丈二寸五厘の他
町沙門太夫の他寺と堂あり平以天王乃や一あり
和奇

毎雄

どんとほ雄井八里の米はうの基かまのようさるや

ふううす井とまう氷う那

政云

うすいろうのた人小神とるる家

重房

たれらうす井とまのあみ小町

孝三

うも井あ人のたは胡蝶のなひ

心信

清もふれ粉とる雄井ふ

可心

河内ではまうさるうすの初紅雲

政云

卷之六

是に三斗をいひて吉乃方（花よりぬ）太子の出来と云ふ星の
王子ともいへりなりと云ふと云ふ也又之より云ふ災惑星南
方れよりいふ必去と云ふ星也と太子のこまひたりと云
星といふよりいふなりと云ふ人なりと云ふ

あけふは別と云ふを鳥のすえぬ里れ曉もうれ

宇二代村上天皇御宇

校字每院
中勅諭人

一校學多能此勅筆
天神
名号

一、此物面也天祥者此物也一石帶一筋紋あり

一 小撮 箱 内 二 三 あり
一 小 袋 本 箱 二 三 あり

一善巧方便經
一觀普賢經

一法花經一初傳教大師筆

一阿字觀河境あり

一佛舍利

一江飯 一丈七寸

右中よりいふ雲雲相分伯母河形人道ありふ常徳坊

魚天律又天徳目令と云いふふ神秘をいふとき

伐く將軍河朱下ありと現現極四制れあり

利新

一利

むむとふはさきしふろと夜あてふ尼れりふ

日

一威

ふむとあつふふふり飯を家生ふむふふふ

日

唯正

天原ふまき飯とやふふ海くはさう白きりふふ

梅かり園路とふふふ明ち

信之

受 海入園り梅白くめじ神祇

一利

乃明ちれふ飯とむろふ米花

孫信

飼くやふなりと里し都ふ

一十

引ふいと道の寺といふなり

如負

大阿引ふ尼ぬれり飯ふ

如元

引飯とつとやあふ津くも伐れ

意明

りつひと天神かふらふるめり

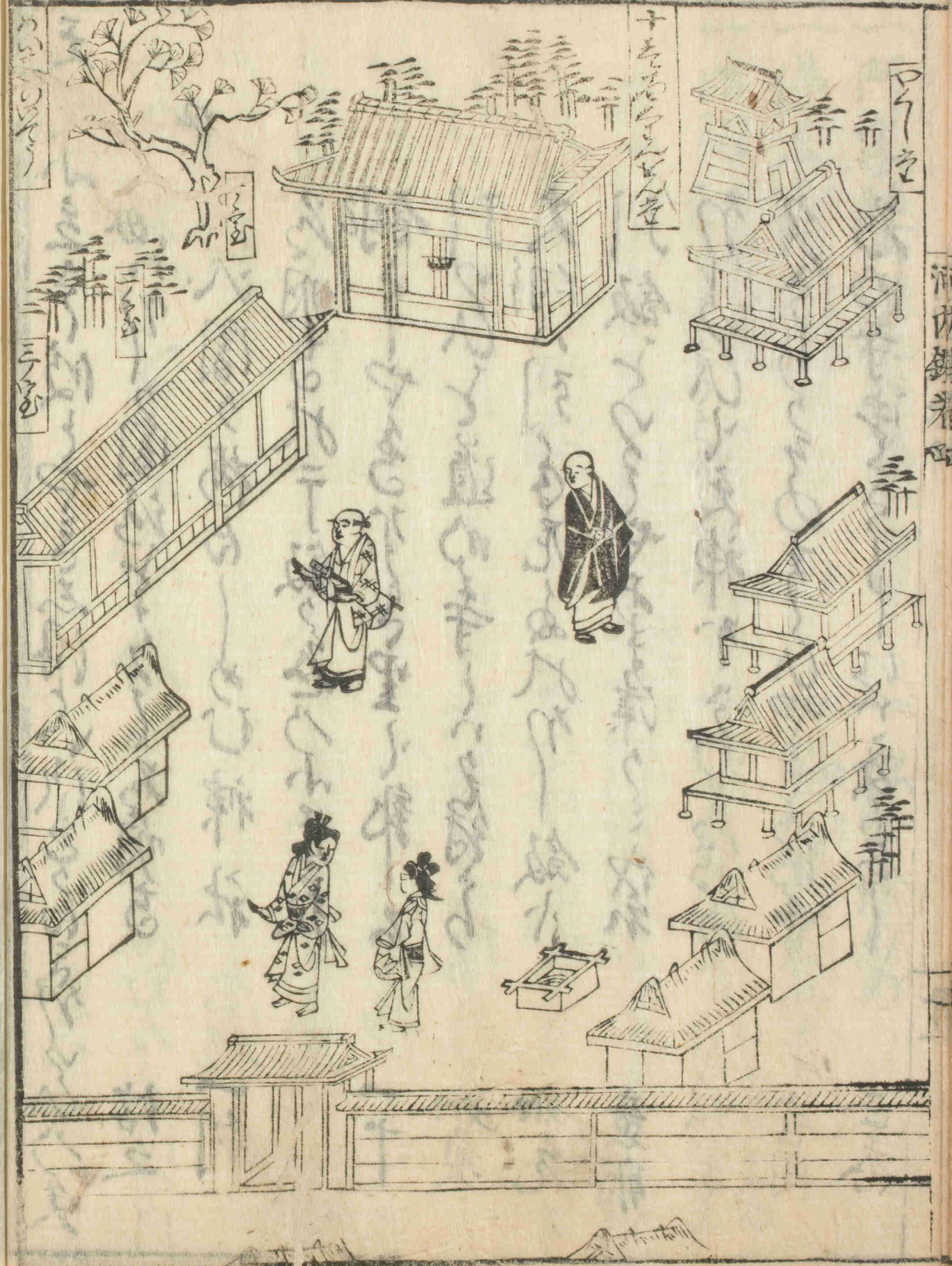
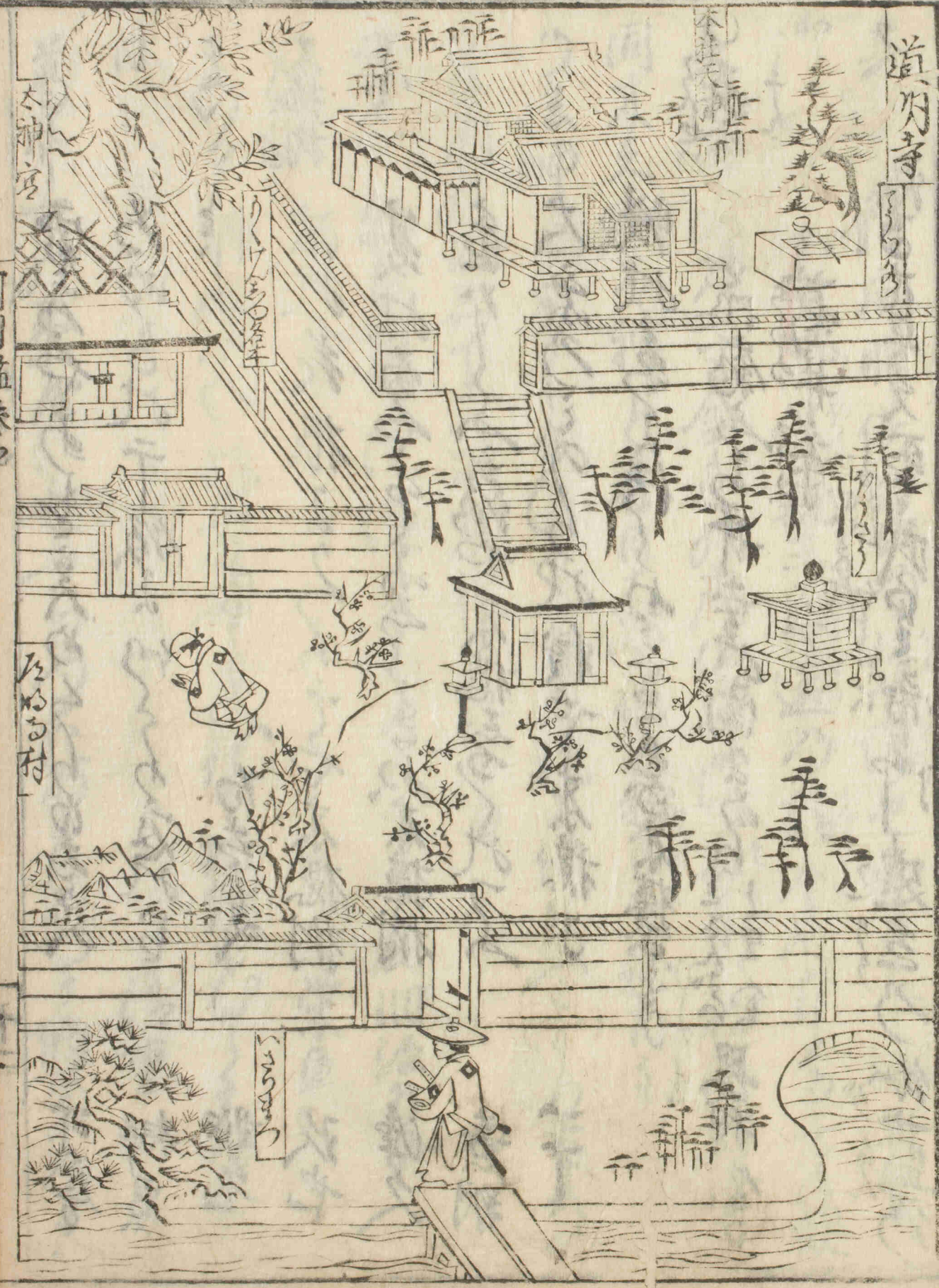
弘宣

夕ふらうそのまふひやとふの寺

言因

乃の寺はさきふふふふふ

正泰



不穩

雲乃やあをえめりり白をえ
 乃めれ下飯よ似るあをえ
 律木乃おの雲りや白をえ
 法れ花根よりりてや木穂樹
 其れるやえふふも木穂樹
 金なふふ露や木穂樹これふ
 大桑乃このりれ枝や木穂子
 枝れあふはくぬさるあ木穂子

可房 辯愚 如元 玖也 澤久 意網 一十 澤宣

○ 反心
十九

大里山廟より井寺に南より
と里人会

葛井寺

又
倒
琳
寺

武皇帝御建之乃伽藍乃

基美蔭閑眼供告乃梵場也加之平城天皇
沖教く阿保親王五遠乃精舍也本寺千の觀
高以長五尺二寸金也所像也即衣本ハ初代の觀爲
同本天皇也祿と春日大の祿と祿有文祿有るを云ふ
乃法師と爰くあひく一刀三礼よ作りてなりあふ六初
年納れ不三十三不煩礼乃地なり
葉平朝臣奥ノ院造とくあひく云同地なり

物奇

榮貞

まづるを短くけり者并ち花比紙よりけり電

清

萬井寺の桑畑に
とら乃花あまづ
も田の桑乃久

狂奇

久任

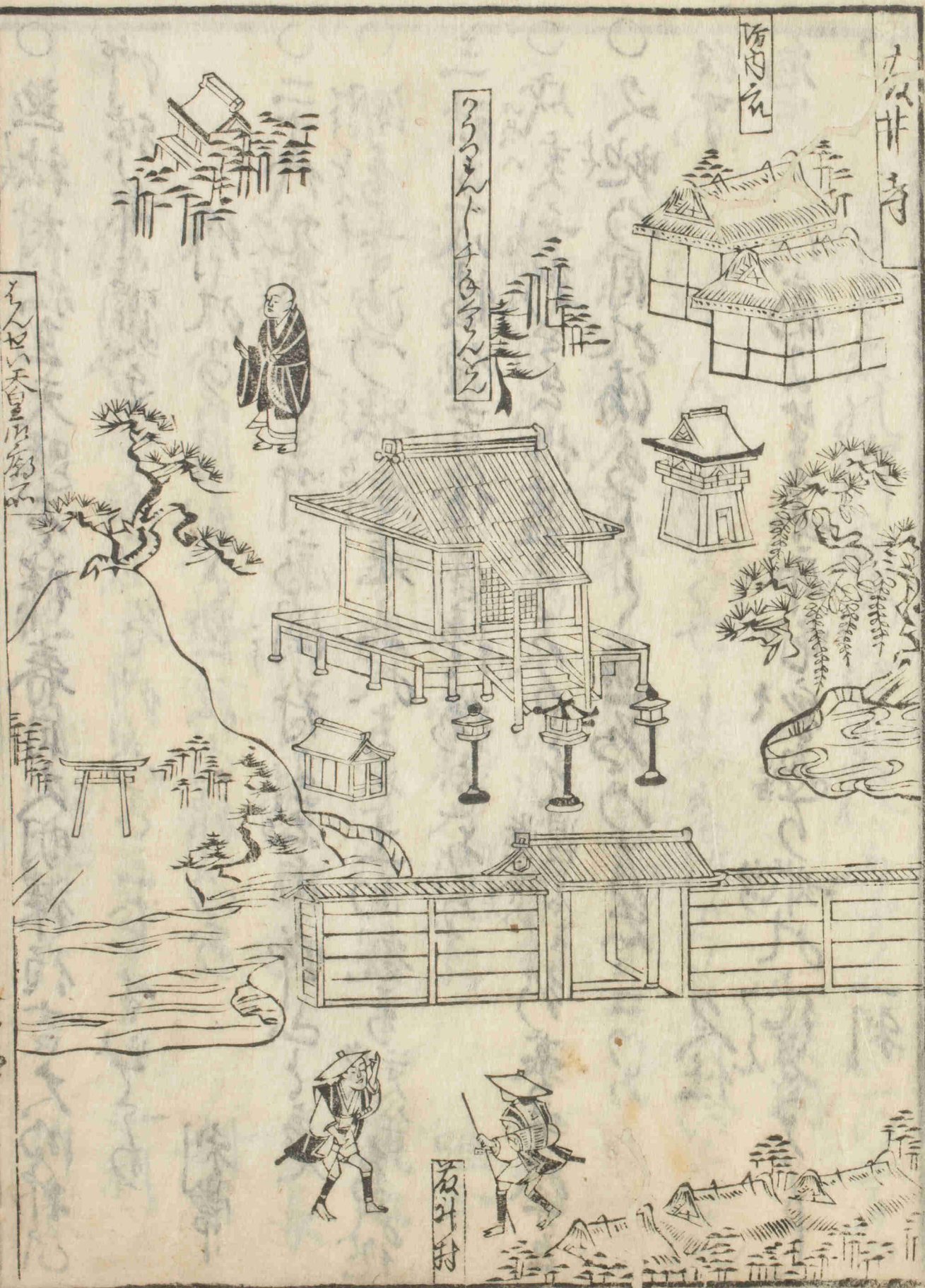
大慈のう知恵れえしなり観音の力にゆきる友井ちうれ
 かしこくこのじ世やまゝなり友井寺
 とらや花よりんり友井寺
 友井も花れ波もや慈照の波
 短尺ち花れ波やち井寺
 観音れ慈照とらや友井寺
 明礼やなりとらや井寺
 ありやつそこや友井寺
 観音れ慈照とらや友井寺
 良徳

一雅
 勝信
 忠之
 心賢
 梵達
 友好
 秋也

内家

大井寺

つるまんとくちさんえ



○惣社村社立天照太神春日大明神伊吉大御神
河内縣前寛文十一年戊午竹乃子二女生也

竹乃子の月少と惣社と村の事

利常

○三代允恭天皇河内國村に在り市野山と名

○潮音寺沙門独長建立れちと土面觀音三尊也

三社立八幡伯吉務と清持とあり

○成美寺新と云伽藍ありと云と云堂塔の
又蛇の目れ清水ありと云通乃乃と云二つあり

○又蛇の目れ清水ありと云通乃乃と云二つあり

可

久住

允恭河内國に在り女席む衣冠り姫れ化男なり

日

一利

名をさるるを河内國乃雷と云ふと云三つあり

日

意親

そのうと云ふ人乃數子せしと云ふと云ふと云ふ

あやうぬら花らと清也潮音寺

友次

地乃月ありと云清水と云雲衣

一利

神と縁じと云ふと云ふと云ふと云ふ

唯正

すやうと云ふと云地乃月の清水と云

厭友

清水と云ふと云月へ蛇の目か

良長

竹乃子と云ふと云地乃月の清水と云

利常

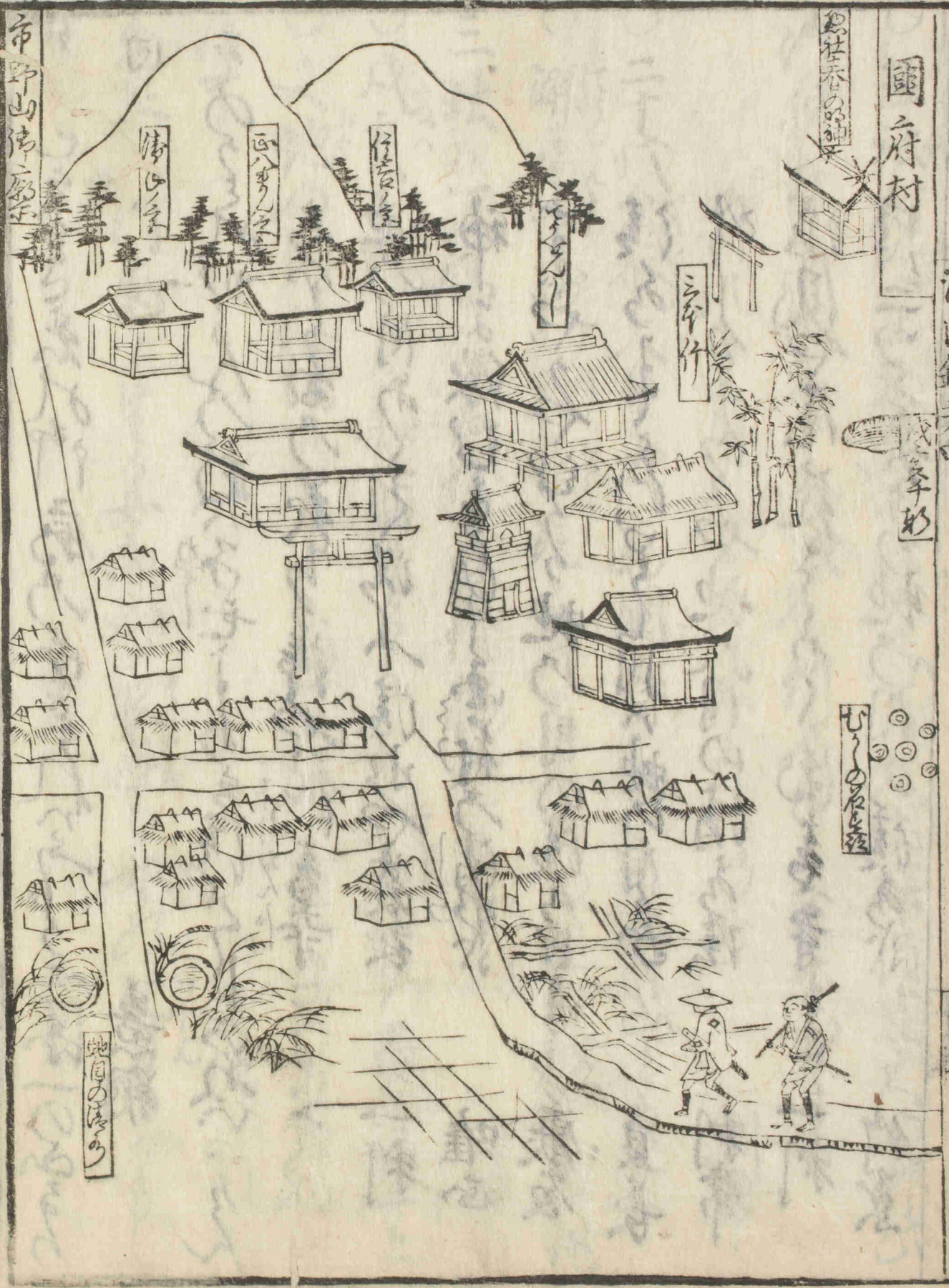
浪風や尾花と云ふと云潮音寺

一利

月二つと云ふと云地乃月の清水と云

竹葉

國府村



○ 永橋村の仙花乃子咲のくみ

永橋や世ふらひもろ水仙花

保友

永橋や一かゝりありすいじん花

正元

○ 當宗神社 志記の 芳名幣使立日月高自宗

夕くらやうひまゐる宗乃練室

定紙

○ 小糸天神志記乃天神志 天照を神素月 西脇

小糸れ時うーとや梅乃花

重良

練女ん梅小糸九代のつとま

西脇

梅れ繪いそふ天神乃練家

澤久

とそく海と小糸れ東の香

正勝

江蘇
蘇州
蘇州
蘇州
蘇州



四六
三六
門
各本ハ葛井寺ノ觀音ニ因本

一尺一寸

惠公の御代也法皇十年天王をやうにせし
大なる事なりと元和六年申す月栢原に
百石切又寛永十一年に河下なる所に
破矢しく少少なりと今わが清くわが

貞室金剛山へ系漏あり。わづ、柏原村津久の亭に
尋來りてひくねとて、ゆまくと相決し、ゆき教をあらはせ
よ。貞室いづく方よりあるといふは、せうもきけなむといふ
ものなり。あつさるゝゆきとひるゝ志あり。とんたねは、そら
いとさらけ出し、出ると知れぬ。とんたねは、そらよりえられぬ。

平地にけさの郡とてこつれくふ志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ
 清水よりふとふむやうなるまに

志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ
 清水よりふとふむやうなるまに

冬記とてふれ

輝やうとてふれ
 志記の郡とてふれ

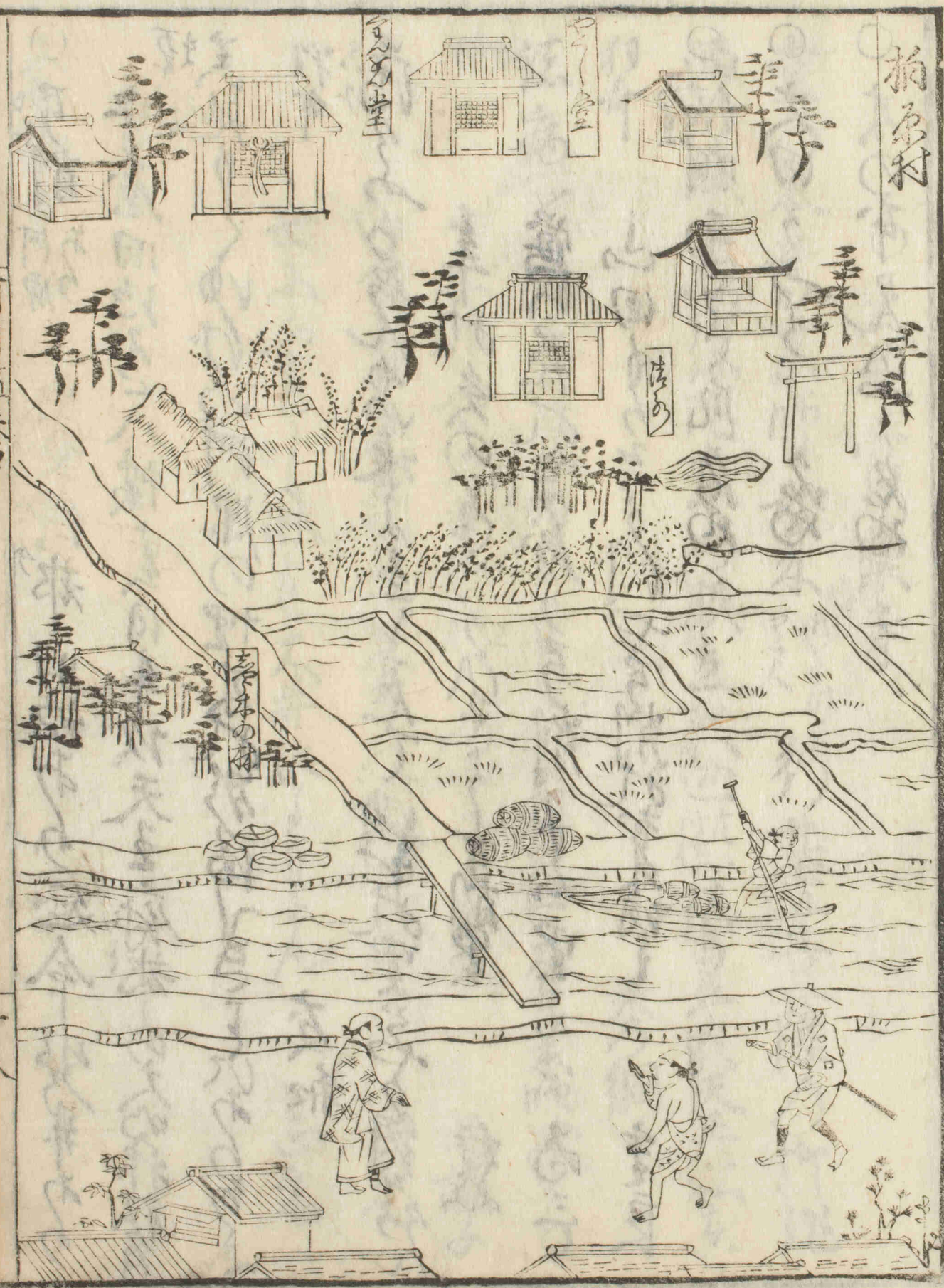
志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ

志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ

志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ

志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ

志記の郡とてふれ
 夏川れ海と郡やん志とてふれ



○^{河原}引削^{あり} 玄寶^{くわんぽう}修^{しゆ}郡^{ぐん}旧^{きう}池^ちあり 延^{えん}令^{れい}水^{すい}井^{けい}あり
守^{しゆ}屋^{おく}旧^{きう}池^ちあり^{八幡} 玄^{くわん}日^{にち}牛^{ぎう}以^い天^{てん}王^{わう}府^ふ郡^{ぐん}の^大の^新社^{しや}有^あ
主^{しゆ}池^ちあり^{ゆび}乃^の河^か原^{げん}の^埋木^{ぼく}形^{かたち}海^{かい}と^いありあ^ふ

和歌

友和

萬^{まん}よりあ^んめ^い氷^ひよ^きと^んて^いゆ^めれ^り里^りあ^る符^ふを^あん

年^{ねん}れ^あ矢^やの^あつ^ぐひ^とう^と削^けの^ま

鶯^うハ^は花^{はな}れ^ち倉^{くら}り^り削^けか^ん里^り

山^{さん}回^{かい}り^りそ^う門^{もん}や^り削^けれ^れ木^{ぼく}垣^{かき}

○^{河内}引削^{あり}あり^り凡^{ぼん}々^ざ

○大^{だい}田^{でん}う^うづ^づ 々^ざ

○木^きの^の中^{ちゆう}ん^んい^いや^や名^な也^や

○大井常樂寺

堂^{だう}乃^の本^{ほん}尊^{そん}業^{ごう}師^し如^に來^{らい} ^{いん}乃^の基^き菩^ぼ薩^{さつ}乃^の所^{しよ}池^ち

西^{せい}乃^の殿^{でん}立^た河^か内^{ない}陀^た東^{とう}乃^の殿^{でん}立^た秋^{あき}也^や ^た法^{ほふ}乃^の年^{ねん}或^{ある}天^{てん}王^{わう}社^{しや}立^た

和歌

秀綱

結^{けつ}病^{びやう}と^は河^か内^{ない}う^うい^いの^のこ^こり^り人^{ひと}は^は利^り益^{えき}無^む大^{だい}井^{けい}業^{ごう}師^しあ^あり

十^{じゅう}二^に社^{しや}や^や大^{だい}井^{けい}乃^のや^やり^り業^{ごう}

い^いろ^ろり^りて^てや^や利^り益^{えき}も^も大^{だい}井^{けい}れ^れ業^{ごう}師^し業^{ごう}

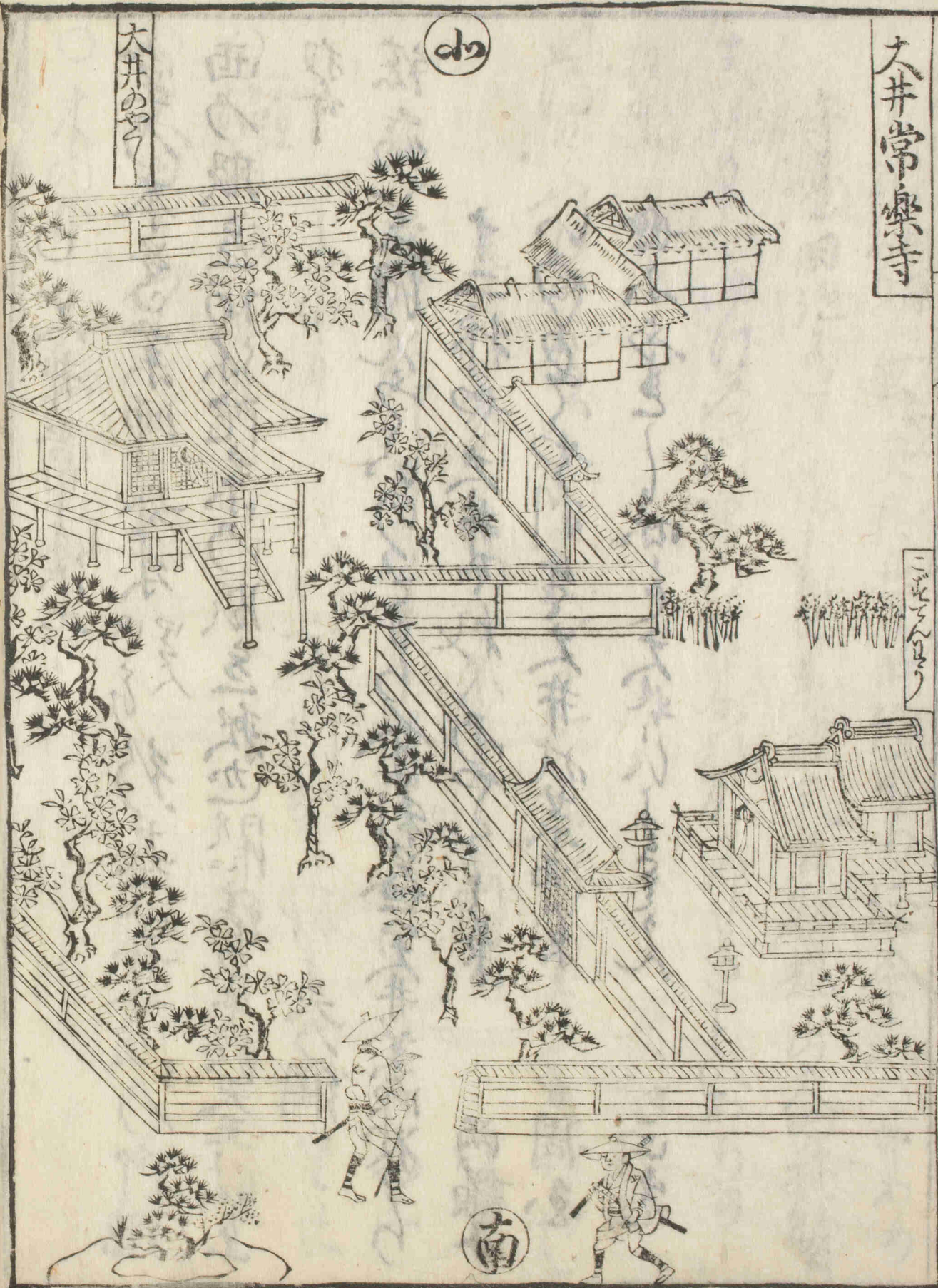
世^よふ^ふと^と味^{あじ}も^も大^{だい}井^{けい}い^いと^と人^{ひと}



大井常樂寺

河内 金剛山

二七五ノ山



○小山とぬ山城と康重入道笑岩古歌江

和奇

久任

雲に霞ふ海ふ小山う花盛るをこころれを城をわと

日

正之

しらとけく小山とわりふり霞う城やこころれを

茅草や小山と勝むりう

月夜ううううれ城の山

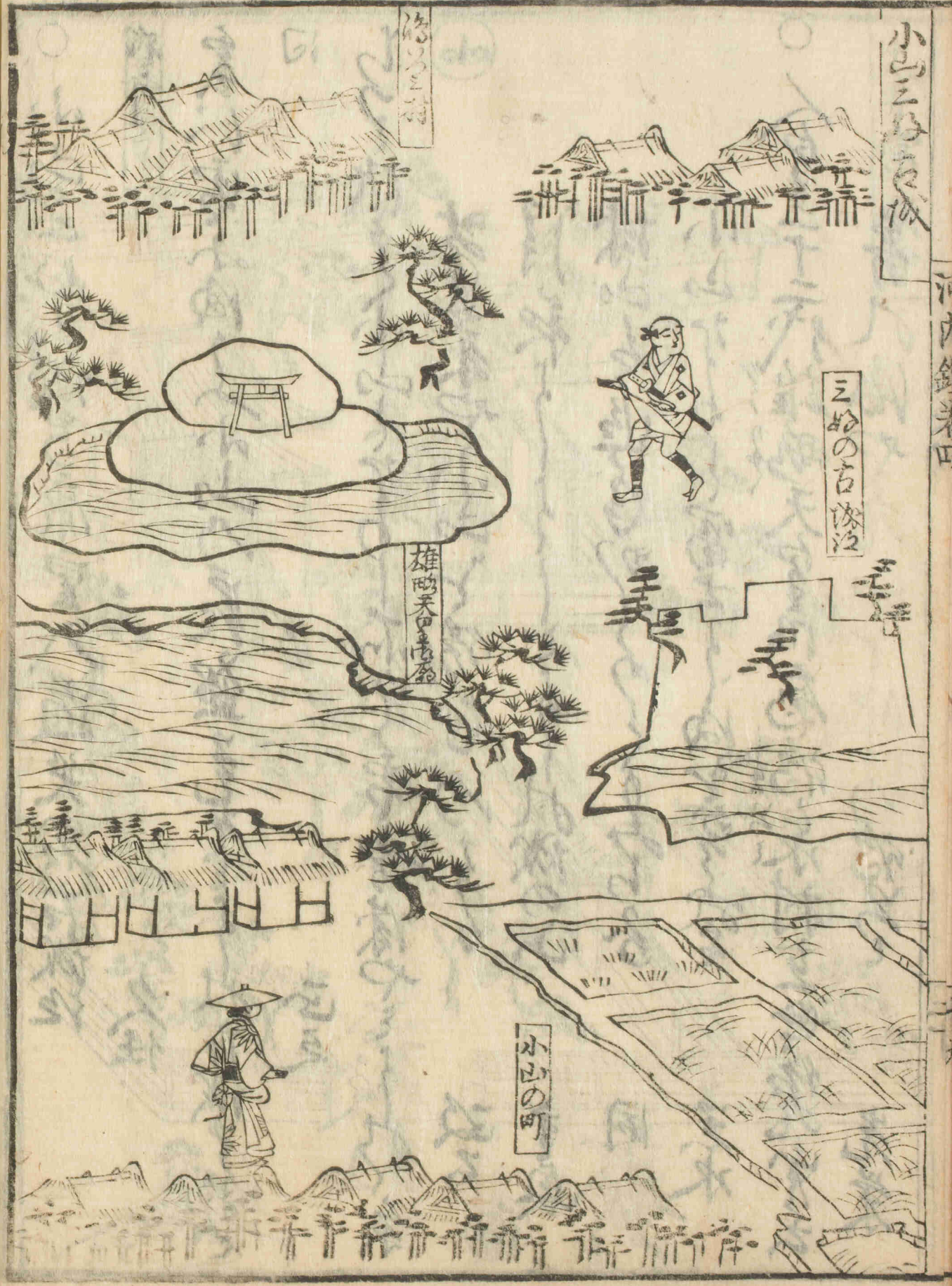
城山と遊むのううううう

小山なりうう富土うう海をうう

○人皇二十代雄略天皇以病病水村立世傳九宮云

芳れ海や九山と神の傳る

光榮



三姉の古跡

雄略天皇御

小山の町

○人王五十一代平城天皇の御子阿保親王葉平親
 いふにいひては故よふれ名と阿保村と申さるゝと云は
 阿保のいふ今より西阿保東阿保とて二村を東阿保河津有
 まれ久き東阿保を今も云ふ

重成

○親王にふみたる地をいひてはようわんまんわん
 いふにいひては故よふれ名と阿保村と申さるゝと云は
 阿保のいふ今より西阿保東阿保とて二村を東阿保河津有
 まれ久き東阿保を今も云ふ

宗信

江内録卷四
 一十一
 主成
 政長
 可成
 元由
 宜休
 常有
 一十
 光榮
 阿保親王御大塚と云山也
 去や乞月つくさやすう塚下
 大塚やそれと云う所の者



○中柳青ハ觀為堂居安そそ大寺有之

今ハ少寺ハ入
正觀者ハ佛堂

○山極安

山ハ名とすくや姥さく

河内山
正利

○新柳村永春山本寺法花寺也本國寺ハ末寺也

○三宅村上西觀者山名春日地天神社有寺法花有

○九破村弘法山有り寺ハ名とすくや姥さく

○塔寺村觀為堂青ハありと曰はる

○天見山と云社本村ハ有ありと云ふ

○中ハ牛臥天王東ハ春日大御神西ハ我利我利也

○新基居伯乃寺あり

○中ハ村ハ茶師砂村ハ茶師也云石佛也ハ長一尺二寸

○伯道村慈現寺本寺ハ觀為給佛也金器ハ置也

○以長二尺五寸又本像正觀音ハ長一尺六寸

○像初ハ山邊安慈現比也

友好

○法ハ花と云んじりハあり

成之

○慈現あり本寺と云けハ

上人

○己ハ長一尺五寸茶師ハ有

友定

○時多ナキハあり

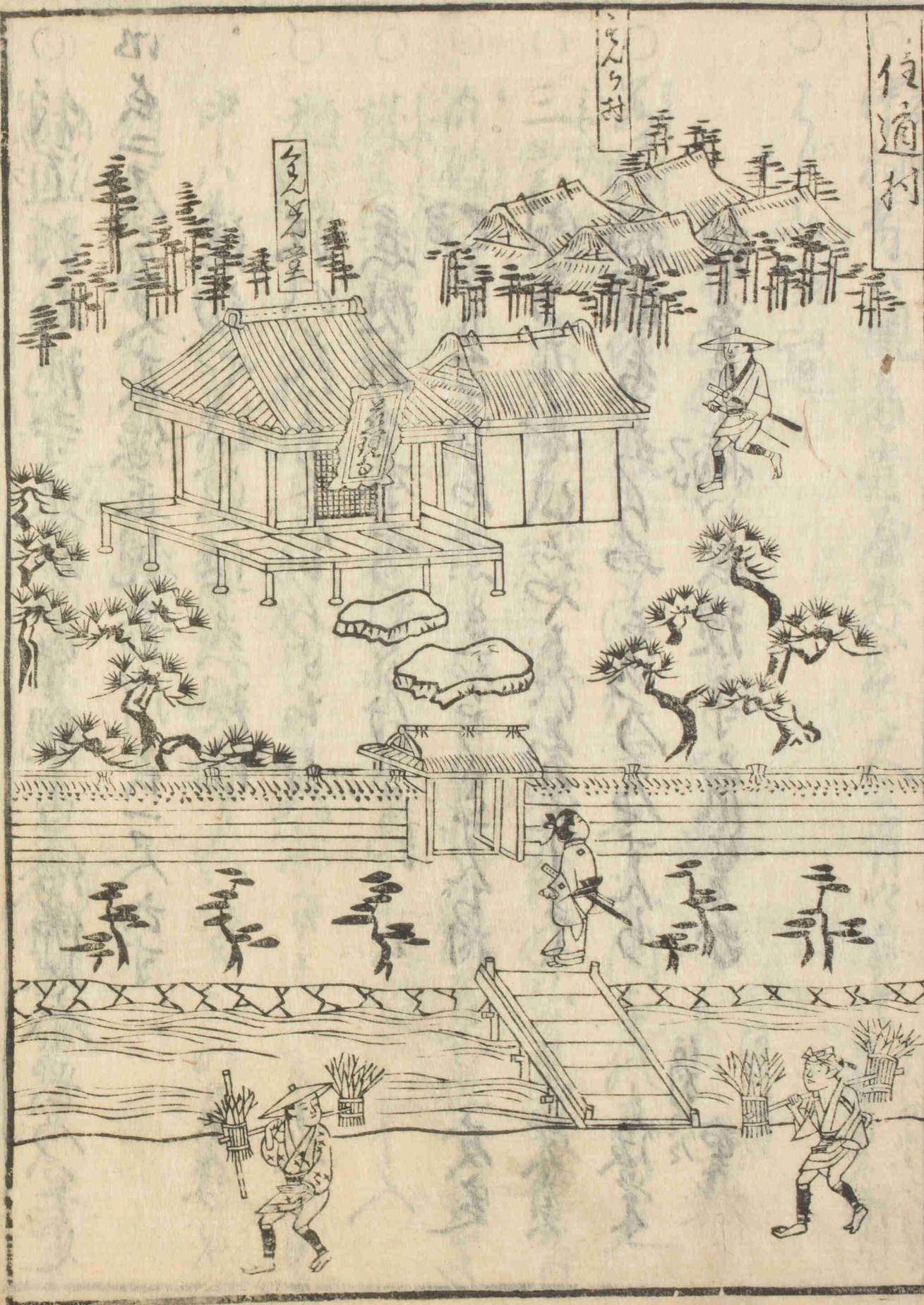
栄貞

○新觀者ハあり

俊栄

○觀者ハあり

重勝



○坂本の狐毛六布五、坂本を泉列信田の狐毛六坂本
 の狐八男毛のこへ、ひくろくとあふ狐乃り、ふふふ

いすうかりひくろくとあふ狐乃り、ふふふ

一志

坂本を泉列信田の狐毛六坂本

栄貞

○布五、七村有青、大佐藍、ふふふ、文化村、あふ本毛、ふふ

向井村布五、山永興寺本毛、土面觀音、行基井、此、ふふ

ふふ、本村布五、山東之坊本毛、土面觀音、唐錫、此、ふふ

ねす

栄貞

觀音、あふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ

布五、川毛、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ

布五、川毛、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ、ふふ

相平

秀綱

夕々しに大氷わねし布忍川も何丈何尺のあふ
日なり

澤久

夕々しに大氷わねし布忍川浪をたふさぐもあふ

糸にうり物や布忍乃川柳

安永

卯れ花乃波より子も布忍川

光榮

波やあつやすふらふ布忍川

政公

布忍川鮎乃うみや糸造

重成

涼やあつてもかんよう布忍川

清重

川清うとうも布忍れ氷子

好貞

氷目やあ強とす布忍川

則武

布忍七村

木村親名

ぬのせ川

向村の親名



○大馬根着公真宗寺ゆりし清浄光院時今も善長寺と
 ○金田村今も此の旧跡に金田の淵とあり一條院時今
 穴大蛇言至大社三社を牛久天王 住持大蛇 山主大蛇 捨るるものとありて
 中くゆりぬとありと里人伝中金田つもの令別ありぬとあり
 と又道中より桑倉の屏風懸と述ゆりてひつととありぬとあり
 金田村桑師と云すは春日の聖観音山主大蛇 住持大蛇 立現とありぬとあり
 金田の淵 ぬき井とありぬとあり
 貞弘
 心寛
 政云
 同

○花田村池浦を觀るに長三又字山分折基の龍其真如ありと
 陽去の池の様子ありぬとあり
 枯木も嘆や花田の觀る寺
 ちりあつハありとありぬとあり
 二月花田よりなるけりありぬとあり
 極ハありとありぬとあり

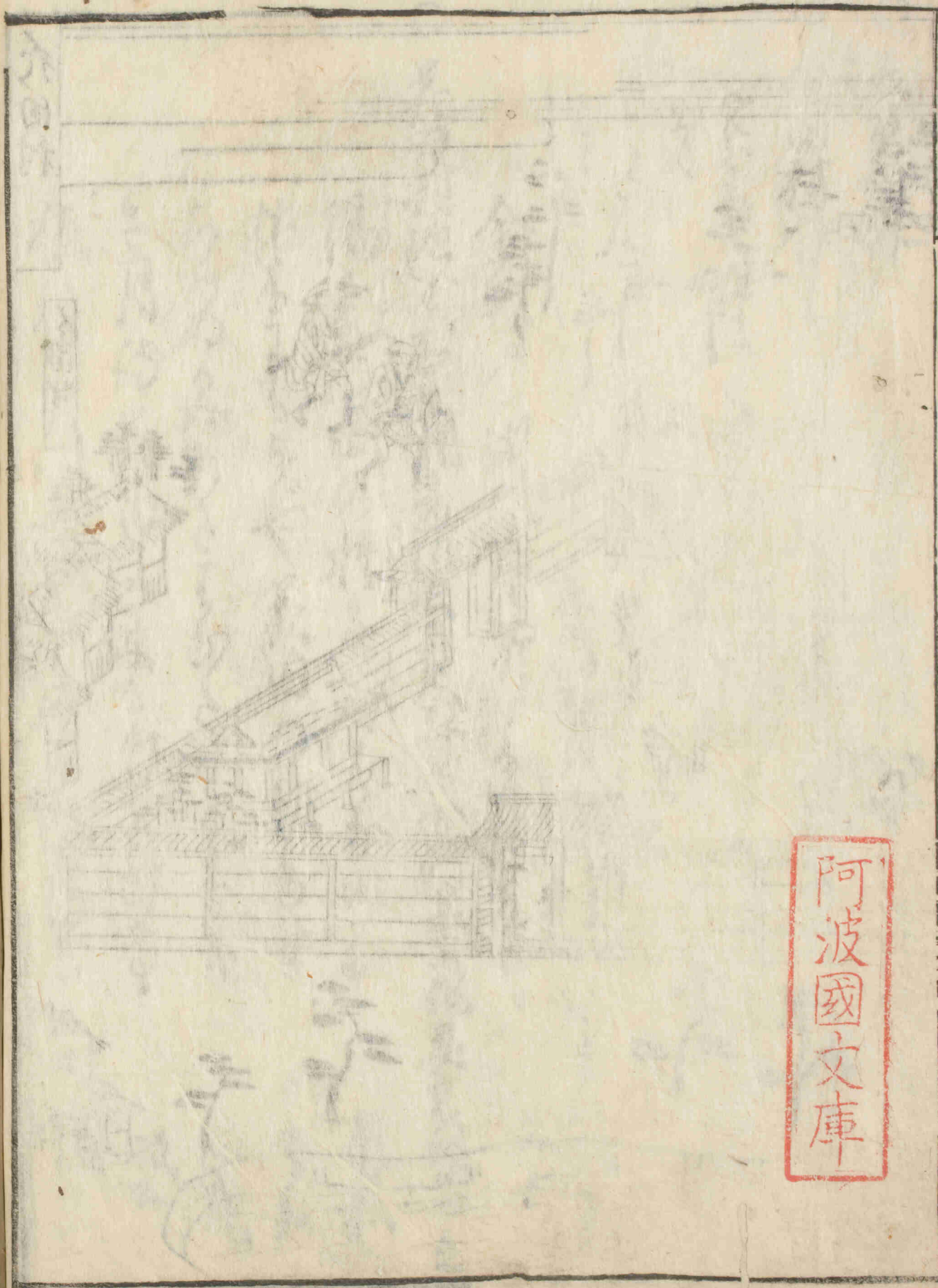
花田村

花田村



花田の観る

阿波國文庫



110X
160
6